



酒田市制施行記念絵葉書／昭和8年



酒田市開市式
／平成17年(酒田市市長公室提供)

第7回企画展 合併20年

ひろがる酒田

～明治から平成の合併の歴史～



酒田市と合併した西荒瀬村の記念式典／昭和29年



市制施行を記念して全世帯に
配布された扇子／昭和8年



大正4年から昭和38年までの町・市章



昭和38年から平成17年までの市章

令和7年
8月30日(土) 入館無料
▶12月26日(金)

【開館時間】午前9時～午後4時30分(最終入館は4時まで)

【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日)



酒田市文化資料館光丘文庫
(酒田市総合文化センター内)

〒998-0034 山形県酒田市中央西町2番59号
TEL: 0234-22-0551 FAX: 0234-22-0612
mail: bunkashiryoukan@city.sakata.yamagata.jp



第7回
企画展

合併20年 ひろがる酒田

～明治から平成の合併の歴史～

平成 17 (2005) 年 11 月 1 日に、酒田市・八幡町・松山町・平田町が合併し、新たな「酒田市」が誕生してから 20 年。地域のつながりと歴史を振り返る節目の年を迎えました。

現在の酒田市ができるまでには、様々な変遷がありました。明治 22 (1889) 年の市町村制施行に始まり、昭和 4 (1929) 年には商業都市として栄えた酒田町と士族の村・鵜渡川原村 (現亀ヶ崎地区) が合併。この時は反対意見も多く、地域の複雑な思いが交錯しました。昭和 8 (1933) 年の市制施行では街全体が祝賀ムードに包まれ、その後も周辺村落や飛島との合併が続きました。昭和 29 (1954) 年には「昭和の大合併」と呼ばれる酒田市と周辺 10 ケ村が一つとなり、地域の文化や交流がさらに広がりました。

本展では、当館所蔵の古地図や写真、当時の新聞記事などの資料を通して、明治から平成にかけての酒田市の合併の歴史をご紹介します。時代とともに変化する地域の姿と、そこに込められた人々の想いや決断が織りなす酒田市の歩みを知り、未来を考える機会となれば幸いです。



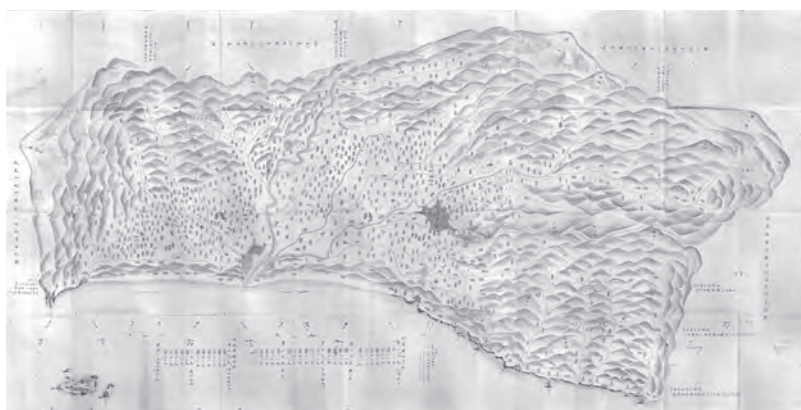
湯野浜との合併問題 温泉街の様子 / 昭和33年



地元の新聞社が報じた合併に関する記事



▲50年後の酒田 夢ものがたり座談会 (雑誌てぶくろ) / 昭和33年



大区・小区に色分けされた庄内三郡図 / 明治初期



▲旧町名が書かれた引札 / 明治36年



合併に関する
特定歴史公文書資料 / 昭和▲

資料館調査員による
展示解説

10月18日(土)
午後1時～(1時間程度)

【場所】酒田市文化資料館光丘文庫
企画展示室 (文化センター内)

【申込】 不要

【交通のご案内】

- JR羽越線酒田駅より徒歩約 14 分
- 日本海東北自動車道 酒田 IC より車で約 12 分

酒田市文化資料館光丘文庫

〒998-0034 山形県酒田市中央西町 2 番 59 号
(酒田市総合文化センター内)

TEL : 0234-22-0551 FAX : 0234-22-0612

mail : bunkashiryokan@city.sakata.yamagata.jp

